

「国際交流 満足度 日本一の医学部を目指して」



信州大学医学部 国際交流推進室 室長、国際医学研究推進学 教授 田中直樹

信州大学医学部の国際交流のウェブサイトをご覧ください、ありがとうございます。

国際交流推進室は医学部の学生・教職員、国内外の学生・研究者に対して、その方のニーズや能力に合った支援を最大限行い、信州大学医学部のグローバル化を推進することを使命としています。

2020年からのCOVID-19のパンデミックは、私達にとって非常に過酷な日々でした。そんな中、グローバル教育の新たな形として、オンライン国際共修(Collaborative On-line International Learning, COIL)やWebinar(医学部国際交流セミナー)に挑戦してきました。2024年度からは英語でタイ、インドネシアの医学生とともに症例検討を行うclinical COILを開始しました。2026年度末には医学科の在校生の全員が1回はCOILを経験したことになります。

信州大学医学部医学科では、5、6年次で休学せずに、カリキュラム内で2~3か月間、ドイツ、イタリア、米国、タイなどの海外協定校で基礎研究や臨床実習に取り組むことができます。年間約15名が海外実習に行っており、その人数も年々増えています。彼らに対して、私が嬉しく思う瞬間があります。それは、海外実習前にさほど研究に興味がなかった学生さんが、帰国後の報告で「基礎研究の重要性が初めて分かった」「医師になっても臨床と研究、両方やってみたい」「医師として大学院を卒業したら、留学して研究したい」などと満足げに話してくれる時です。海外での生活は決してキラキラした楽しいことばかりではありませんが、その時の学びや人との出会い、達成感や満足感は、医師人生の宝になることでしょう。

さらに信州大学医学部には海外協定校であるドレスデン工科大学(ドイツ)、トリエステ大学(イタリア)から定期的に医学生が留学してきます。最近ではライブツィヒ大学(ドイツ)、協定校以外のボン大学(ドイツ)、カレル大学(チェコ)からも医学生を受け入れており、2026年度はUCDavis(米国)からも受け入れる予定です。信州の地で、同世代の海外の医学生と知り合い、自由に交流を楽しむ、これも貴重な経験です。

私たちは、学生や若手医師が安心して世界に挑戦できるよう、これからも支援を続けてまいります。学生の皆さん、安心して一歩を踏み出しましょう。

◆メンバー

室長・教授：田中 直樹 助教：盧 郁 コーディネーター 百瀬 みと美

◆場所

信州大学松本キャンパス 医学部基礎棟1階「国際交流推進室」